

# 留 学 報 告 書

記入日: 2014 年 10 月 31 日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部会計学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アルバータ大学 現地言語: University of Alberta
留学期間	2013 年 8 月～2014 年 5 月
留学した時の学年	4 年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4 年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経営学部
帰国年月日	2014 年 5 月 13 日
明治大学卒業予定年	2015 年 3 月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:      2 学期:      3 学期:
学生数	約 40,000 人
創立年	1908 年

留学費用項目	現地通貨 (CA\$)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	725×9 ヶ月	70,325×9 ヶ月円	
食費	600×9 ヶ月	52,380×9 ヶ月円	交際費も含む
図書費		0 円	
学用品費	1,000	97,000 円	教科書等
教養娯楽費	200	19,400 円	
被服費	2,000	194,000 円	
医療費	0	円	
保険費	38×9	3,686×9 ヶ月円	形態: University Health Plan
渡航旅費	0	円	
雑費	1000	97,000 円	
合計	16,467	1,597,299 円	

### 渡航関連

渡航経路:バンクーバー経由								
渡航費用 <table border="0"> <tr> <td>チケットの種類</td> <td>AWARD</td> </tr> <tr> <td>往路</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>復路</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0</td> </tr> </table>	チケットの種類	AWARD	往路	0	復路	0	合計	0
チケットの種類	AWARD							
往路	0							
復路	0							
合計	0							
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。								
Air Canada								

### 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)
大学寮
2)部屋の形態 <input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )
3)住居を探した方法:
大学から案内のメールが来る
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
部屋によっては家具をそろえる必要がある

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった  
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International Student Office をはじめ様々なサポートデスクがあり、頼りになる

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

スリは多い

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

量の部屋に wifi は入らないので別途外部の wifi サービスに加入する必要がある

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設し、そこへ送金してもらった

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

正露丸、コンタクトレンズ関係

## 進路について

1) 進路

- 就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

進路相談室

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

Deloitte Thomatsu Consulting Co., Ltd

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

やりたいことを好きなだけやって、何かしらそこから得られれば良いと思う。就活にこだわって日々活動していたら、せつかくの大学生活を無駄にするだけになる。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 10 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Product Management and Pricing Strategy	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	市場における商品のマーケティング戦略
試験・課題など	試験は中間と期末で 2 回、レポート形式の課題が 2 回
感想を自由記入	様々なマーケティング戦略を実在する商品を参考にしながら学んでいく。かなり実践的で満足。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Seminar in International Business	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	商品を国際市場に出すに際する様々な戦略
試験・課題など	試験は中間と期末で 2 回、レポート形式の課題が 1 回にグループプロジェクトが 1 回
感想を自由記入	プロジェクトの内容はかなり実務的な知識と考察を必要とするものだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sales Force Management	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	営業に関わる人材戦略
試験・課題など	試験は中間と期末を合わせ 2 回と 1 回のグループワーク
感想を自由記入	内容はかなり本格的なもの。プロジェクトにも何かしらの実務経験がないとつらい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing Communication	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	
授業内容	商品の広報戦略と広告業界について
試験・課題など	テストが期末を含め 3 回。グループプロジェクトが 1 回
感想を自由記入	様々な企業の広告戦略を例に理論を学ぶ。グループプロジェクトは完成すればビジネスコンテストに出せるほど内容が濃い。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behaviour	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	ターゲットとなる市場の消費者の行動分析
試験・課題など	試験が中間と期末合せて 2 回
感想を自由記入	新しい発見が多くとても面白い。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Retail management	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	
授業内容	店舗運営に関する経営戦略
試験・課題など	レポート形式の課題が 1 回とグループプロジェクトが 1 回
感想を自由記入	外部から業界人を招いての講義も多く、そのリアルな知識が入る。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Strategic Marketing	
科目設置学部・研究科	School of Business
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	
授業内容	企業の戦略的意思決定について
試験・課題など	1 回のテストと 1 回のグループプロジェクト
感想を自由記入	StartX というリアルな仮想市場においてグループごとに意思決定を行い、それを通期で他グループと競い合うという内容で、一番面白かった。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	9月からIELTSの受験準備・ライティングの勉強の開始
10月～12月	10月 試験を受けた。 11月 カナダ大使館であった留学フォーラムで情報収集をした 12月 学内選考試験
2013年 1月～3月	
4月～7月	4月 入学案内が来る・寮を決める 7月 ビザをオンラインで申し込み
8月～9月	8月 渡航
10月～12月	秋期 中間試験は10月下旬に多く、授業は12月初めに終わる
2014年 1月～3月	冬期 中間試験は2月に多い 2月に1週間のReeding Weekという休みがある
4月～7月	4月初めに授業が終わり、その後期末 5月に帰国
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	経験として一度はしておきたいという純粋な気持ちです。そのままズルズル学校が押してくる就活の流れ身を任せたくなかったし、留学でいつもと違う環境から、何か自分が気づいていなかった新しい人生の面白みや方向性の発見があればいいなという期待でした。ちょうど4年次の留学だったので、社会に出るという直前に1年間の人生をじっくり考えるいい休憩であったし、それがあっての今の姿なので、とても留学はよい決断だったと思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	人としゃべる訓練をしたほうが良いと思います。人と接することが多いバイト等を留学資金をためるのと一緒にしてください。留学先では文化も考え方も違うコミュニティーの中で生きていくので、垣根なく色々な人と会話ができるスキルは留学先でもとても役立ちます。それと考える練習をしてください。あちらの大学は日本の大学のようにただ知識を鵜呑みにするだけでは評価はされないの、そこから自分はどういうスタンスをとってこういう意見があるというでも表明できるように、常に情報を頭で処理できるようになると、すんなり留学先の授業に慣れると思います。
この留学先を選んだ理由	留学先を日本と全く異なる文化圏にしたいと思って北米地域に絞り、他の留学経験者の話なども参考にして、アメリカではなくカナダにしました。私は経営学部なので、ビジネス関連の学部が強いのはどこかとなると、カナダの交換可能な留学先の中ではアルバータ大学であったので、ここを選びました。
大学・学生の雰囲気	学生はかなり真面目な印象でした。テストも中間期末がほぼどの授業でもあり、レポートや予習量もあるので、平日はみんな図書館などで勉強に取り組んでいました。ただししっかりスイッチはあるので、金曜日の夕方からは飲み始めてその足でクラブに行き、土日はスノボをするというのが安定の一週間の流れでした。大学は市のほぼ中心部にあってキャンパスも広大で、周りには学生向けのバーがたくさんありました。
寮の雰囲気	寮にも様々な種類がありましたが、私の寮は留学生が8割ほどで、そのためあまりみな家族同然のような存在でした。1人部屋でしたがいつでも人が呼べたので、集いの場となり常ににぎやかでした。
交友関係	授業ではほとんどが課題としてグループプロジェクトがあったので、それを通してクラスに友達はできました。他にも大学のテコンドークラブに所属していたので、そこでも交友関係を広げることができました。寮生活ではパーティーが必ずどこかであるので、それに参加すればまた新しい関係を広げるチャンスが無限にあり、さらにそのほとんどが寮生活なので、絆もとても強かったです。
困ったこと、大変だったこと	食品などの物価が案外高いので、お金がすぐになくなることです。学校内のレストランを使用してもおおよそ\$10はかかります。かといって自炊するとしても量で売っているの、到底一人では食べきれません。またテストが近くなると自炊する時間もなくなり、自然とレストランになってしまうのが難しいところです。1ヶ月おおよそ食費にかかるお金は月\$600と見積もっておくのが安全です。
学習内容・勉強について	授業内容についてはかなり実践的です。だからといってハードルが高いわけではなく、様々な事例を用いたりするので理解はしやすいです。ただ一学期に学ぶ量が膨大なので、テストやプロジェクトに向けまずそれをインプットするにはかなりの労力を必要とします。言うなら大学受験ぶりにあんな勉強をしたという感じです。先生はとてもサポート的なので、わからないところがあればメールでいつでも返信してくれます。
課題・試験について	課題は日本とは違い文献を参考に書くというようなことはなく、様々なデータベースを使い、それを分析しながら理論に基づいて作成するというスタイルでした。試験も知識量の確認でなく、しっかりと論に展開できるかが要だったので特に決まった正解はなく、しっかり自分の意見を論理的に説明できているかが配点のカギだったと思います。
大学外の活動について	大学自体、それだけで大きなコミュニティーであったので、特に外では活動はしませんでした。
留学を志す人へ	自分のやりたいことを好きに好きにだけやってください。そこでたくさんのかたちを経験していくと何か必ず得られるものはあると思います。留学の最中は日本でのことや就活を忘れて、留学の時間を1秒1秒思いっきり楽しんで。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業		授業		授業		
	授業		授業		授業		
午後	日本語 チューター	授業	日本語 チューター	Lab	日本語 チューター		
	勉強	勉強	勉強	勉強	勉強		
夕刻	ジム	テコンドー	ジム		スノボ	ジム	
夜	雑談	雑談	外食	雑談	パーティー		